
おんなの事情

海山ヒロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おんなの事情

【Nコード】

N8199Y

【作者名】

海山ヒロ

【あらすじ】

ベッドのなかでは。

いや、ベッドの中にかぎらず、ひとたびお互いの指が触れあえば、主導権は完全に彼のものになる。

6つも年下の、わたしがランドセルを赤色にしようか黒にしようかと迷っていたころ、ようやく新生児室に力なく横たわっていたはずの若造に、完全に組み敷かれるのだ。

1 (前書き)

ブログからの転載です。短いです。全3篇。

ベッドのなかでは。

いや、ベッドの中にかぎらず、ひとたびお互いの指が触れあえば、主導権は完全に彼のものになる。

6つも年下の、わたしがランドセルを赤色にしようか黒にしようかと迷っていたころ、ようやく新生児室に力なく横たわっていたはずの若造に、完全に組み敷かれるのだ。

彼が特別「うまい」わけではない。すくなくとも。32歳のこの年までにすこしは場数をふみ、技術面では非常にすぐれた御方とも、お手合わせする機会もあった。が。

「こんなのはじめて」である。

こうして書いているいまこの瞬間も、胸がくるしくなり、下腹は重くふくれ、身体の真奥の、幾重にもかさなった襞が彼を求めてうごめいている。

あのキスがまずいけなかった。

ふたりの男に同時にコクられるという、女なら生涯で一度は経験してみたい榮譽に気をよくし、どちらも憎からず思っていた、つまり好きではなかったわたしは、おおいに迷っていた。

身長。これは重要ではあるが、決定打にはならない。

彼は背がたかく（キスする時などわたしが伸びあがり、彼は膝を曲げねばならない）、もうひとりの彼は、ヒールをはいたわたしとほぼ目線が同じ。

それから顔。

好みから言えば、浅黒い肌にくつきりとした目鼻立ちのラテン男の彼のほうが、タイプではあった。日本人である彼は、わたしよりも肌が白く、27歳の現在でも「少年のような」顔立ち。ついでに髪も目も色素がうすい。

そして、一番重要なガタイ。

ラテン男はもろわたしのストライクゾーン、筋肉質のがっちり型であるのに対し、彼の歩く姿はひよろひよろとして、キリンに似ているといつも思う。

けれど、結局わたしが選んだのは彼であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8199y/>

おんなの事情

2011年11月24日12時49分発行